

# 心臓超音波検査：経胸壁心エコー図

---

- 2cm × 3cmの超音波発生端子(探触子)にゼリーを塗って胸部に密着させると、探触子から出た超音波(人間の耳には聞えない高い周波数の音波)が体内にある心臓や血液などに当たって反射され再び探触子に戻ってきます。超音波を反射した物の位置や動きをリアルタイムな動画としてカラー表示することで、心臓や血管の形態や動き、中を流れる血液の様子などを詳細に観察し記録します。
- 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)や弁膜症、各種の心筋症、先天性心疾患、心臓腫瘍などの診断や重症度判定、心臓内血栓(血液の塊)などの合併症の診断に非常に有用です。体には無害で短時間に多くの情報を得られ比較的経済的な検査ですので、治療効果を判定したり手術時期を見極めたりするために定期的に繰り返して行うことがあります。検査時間は10-15分です。

